

2 学期始業式あいさつ

皆さんおはようございます。現在、新型コロナウイルスの感染が全国各地で拡大しています。島根県でも一昨日、今年になってからの最高の感染者数が報告されました。この状況を考え、放送による始業式としました。皆さんの姿をみて、お話できないのがとても残念です。

本日より2 学期がスタートします。7月の豪雨に続き、今月に入り台風、そして再びの豪雨が全国各地で災害をもたらし、島根県でも多くの方が被災されました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

7月21日に開幕した東京オリンピックでは、日本はメダルの数でいうと金が27個、銀が14個、銅が17個の合計58個で過去最高を記録しました。連日報道される試合や選手のコメントには、たくさんの感動をもらい、胸が熱くなる場面も多々ありました。

各国の代表という重圧を背負って出場するオリンピックは他の世界大会とは雰囲気も異なり、メダルにかける思いがとても強く感じます。だからこそ、メダルを獲得した選手、残念ながら逃した選手いずれの選手の戦いや発せられる言葉も、私達に感動を与えてくれると思います。

私が印象的だったのは、ソフトボールの13年越しの悲願の2連覇、競泳女子で日本史上初の2冠に輝いた大橋悠依選手、大活躍の卓球競技、高校時代の先輩、後輩の息のあったプレーで見事銅メダルを獲得したバドミントンの混合ダブルス、白血病に打ち勝ち3種目でオリンピックの舞台に立った競泳の池江璃花子選手、男子3000メートル障害の予選で日本新記録を出し日本人初の決勝に進み7位入賞を果たした島根県出身の三浦龍司選手などまだまだたくさんあります。またメダルを期待されていた男子400メートルリレー決勝で、チームのバトンミスにより途中棄権の結果に終わったレース直後に桐生祥秀選手が、インタビューでメダルをとった各国の選手たちが歓喜に沸くフィールドを背にして「後ろがうらやましいです」と答え、あふれる涙で何度も振り返って見て、「後ろに日本の国旗をこの舞台で掲げたかったです」と語ったことに胸が熱くなりました。

人が一つの目標に向かって長期にわたり、毎日努力を重ね、本番に力の全てを出し切る。その姿は、結果を問わず輝いて見えます。皆さんも自分の目標に向かって努力し、自分を輝かせてください。その1つ方法のとして、エンゼルスの大谷翔平選手が高校時代に目標に掲げた「8球団からのドラフト1位指名」、これを実現させるために使用した目標達成シート「マンダラチャート」をホームページの校長だよりで紹介したので、是非とも参考にして欲しいと思います。

さて、夏休みに入り猛暑が続きましたが、その中でも、部活動、各種大会出場、保育実習、ボランティア活動、オープンスクールのスタッフ、補習授業など様々な活動に一生懸命な姿があり本当にうれしく思いました。福祉系列3年生の3名が出場した中国地区介護福祉研究発表会では、見事優秀賞に輝きました。ビジネス計算競技の2年の小島咲さん、ワープロ競技の3年の藤井志都輝さんは、全国大会でも実力を発揮してくれました。残念ながら全国の壁は高く入賞できませんでしたが、全国大会出場はよい経験となったと思います。全国大会に出場した2人に対し、大田市から激励していただいたので、大田市長さんを表敬訪問させていただきました。その際に、小島さんには、珠算競技の実演をしてもらいました。6桁の数字のかけ算問題にそろばんをはじくスピードはもはや神業かと思うほどで私も周り人々も驚き、さらにその結果の正確さにも拍手喝采でした。

みなさんも自分の得意な分野であるいは、様々な立場で自分の能力を発揮して、自分自身を奮い立たせてください。2学期には、皆さんが主体となって実施される邇摩高フェアや体育祭と文化祭と一緒にした仁心祭があります。邇摩高フェアのテーマは『THE GREAT CHANGE ～進化する邇摩高フェア～』、そして仁心祭のスローガンは『青春輝け～新時代の幕開け～』です。自分達の可能性を信じ、大変革を起こし、青春を謳歌して欲しいと思います。

最後に、3年生の皆さんは、進路の受験に向けての準備はできていますか。これまでのたくさんの積み重ねをぜひ整理して、うまく自己PRできるようにしておいてください。1年生、2年生の皆さんは、自分の進路が希望通りに決まるよう今のうちから、たくさんの経験を積んでください。この経験は、きっと来年、再来年の大きなセールスポイントになると思います。

それでは、2 学期での皆さんの更なる成長を期待しています。